



第9回 東京六大学対抗ロード(クリテリウム)大会

2014年度 全日本学生ロードレースカップシリーズ第11戦 浮城のまち行田ラウンド

2014年11月16日(日) 埼玉県行田市・行田総合運動公園周辺 周回コース (1周 2km)

主催:東京六大学対抗自転車競技大会実行委員会/日本学生自転車競技連盟 運営協力:一財)埼玉県自転車競技連盟

後援:行田市 行田市教育委員会 行田市体育協会 行田ライオンズクラブ 行田商工会議所

行田ロータリークラブ 行田さくらロータリークラブ

Communiqué.03

大会チーフコミッセール 荒井 純一

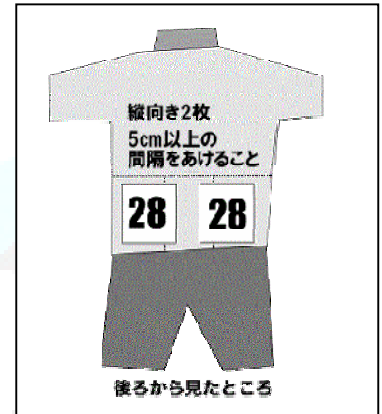
1. ゼッケン・フレームプレートの取付け

(1)ゼッケンの装着は一般規則に準じる。(右図参照)

- ・ゼッケンは大会終了後、すみやかに大会本部に返却すること。
- ・未返却・紛失は、1,000円のペナルティーとなる。

(2)フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。

- ・中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、左側に寄せること。また、どうしてもフレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シートピラーに取り付けることを認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定すること。



2. ニュートラリゼーションについて

審判員により確認された認められる事故の場合、最後の2周を除き1週のニュートラリゼーションが与えられる。

3. 器材交換(ピット)について

- (1)競技中の器材交換は、スタートフィニッシュ地点付近に指定されたピットエリア(詳細は当日指示)でのみ、地上にいるチームスタッフからの器材提供・修理支援を認める。
- (2)落車の原因となるので、ピット区間以外での器材修理および交換は認められない。

4. 失格時の注意事項

- (1)周回遅れで失格となった選手は、自らゼッケンを外して(フレーム・プレートは外さない)、競技の妨げにならない様にコース外へ出ること。(特に、コースの逆走は絶対にしないこと。)
- (2)自主的に競技を途中棄権した選手は、フィニッシュエリアの審判に必ず棄権の旨を伝えること。通告のない場合はペナルティーとなる場合があるので注意すること。

5. その他

- (1)ジュニア選手のギヤ比の制限は行わない。
- (2)公道を走行可能な装備を義務付ける。(RCS共通事項)

以上